

令和元年8月30日
総務委員会提出資料

帯広市人口ビジョンの改訂について

(骨子)

人口ビジョン改訂の考え方

■人口ビジョンの位置づけ

- ・効果的な人口対策を企画立案する重要な基礎資料

■内閣府「地方人口ビジョンの策定のための手引き(令和元年6月版)」

- ・各地域の状況変化等も踏まえて、「地方人口ビジョン」の改訂を行う必要がある
- ・人口の現状分析と将来展望を行う

■主な改訂内容

- | | |
|-------------|------------------------------|
| ・人口動態の分析 | 自然動態・社会動態などの時点更新と分析 |
| ・将来人口の推計と分析 | 2018年社人研推計などを活用したシミュレーションの実施 |
| ・人口の将来展望 | 人口動態・将来推計を踏まえた将来展望人口の更新 |

人口動態の分析

■ 総人口・年齢3区分別人口

- ・2015年国勢調査人口 169,327人
(2010年対比+1,270人、2013年社人研推計による2015年人口対比+4,950人)
- ・2018年国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計による2040年の人口
155,438人(2013年推計対比+24,240人)
- ・2018年推計による2040年の高齢化率 37.7%(2013年推計対比▲2.1ポイント)

■ 自然動態(出生・死亡)

- ・自然動態のマイナス幅が拡大傾向(2014年▲311人⇒2018年▲655人)
- ・合計特殊出生率は、2014年1.39から、2017年1.42へ微増
- ・2015年の未婚率は、男性30.7%(2010年対比+0.1ポイント)、女性23.2%(同▲0.3ポイント)

■ 社会動態(転入・転出)

- ・転出入の差はプラス傾向からマイナス傾向へ(2015年+92人⇒2018年▲132人)
- ・若年女性の転出超過傾向、札幌市・東京圏への転出超過の拡大傾向

■ 十勝圏の現状、外国人数の動向

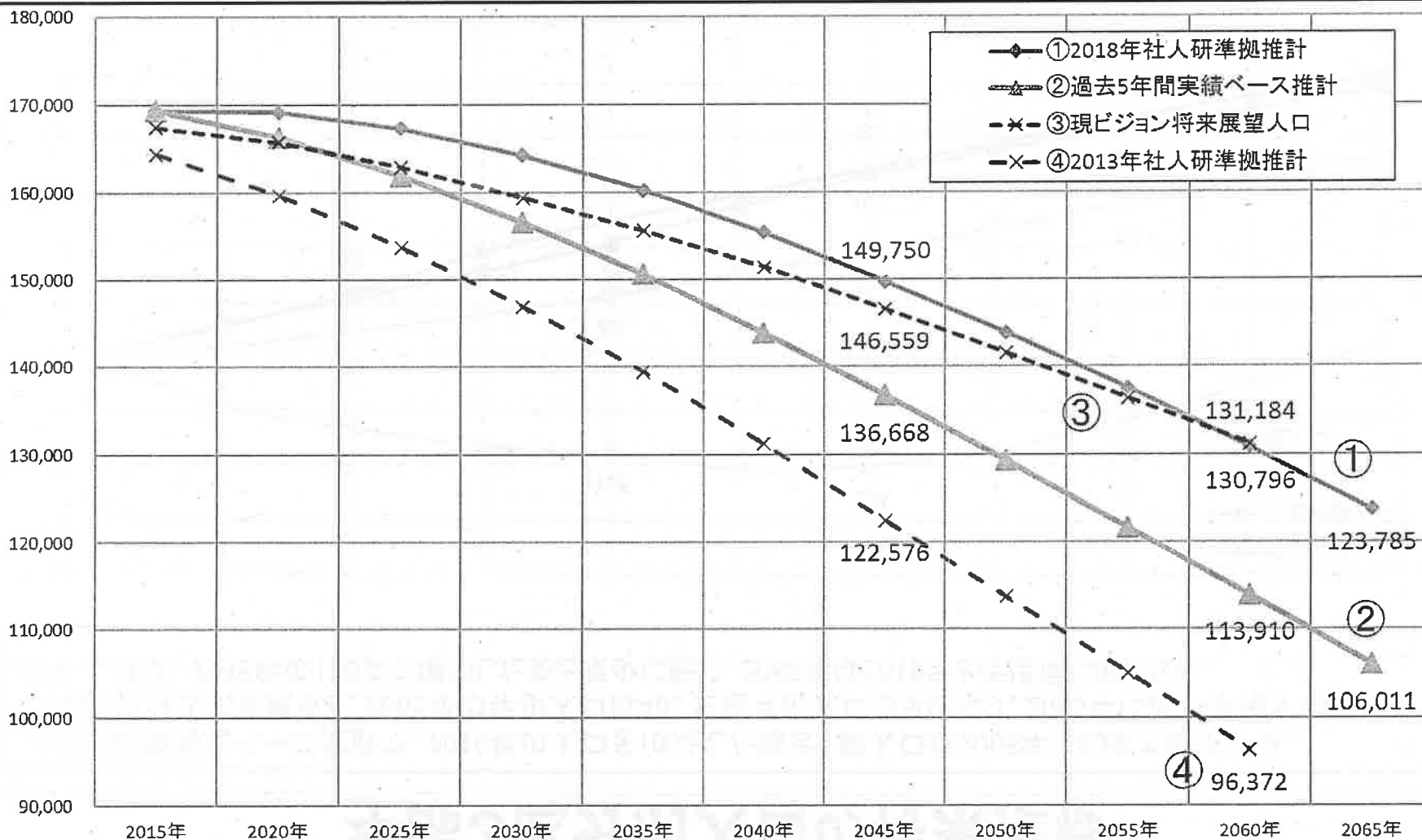
- ・2015年国勢調査人口(管内町村計) 174,109人(2010年対比▲6,431人)
- ・2018推計による2040年の町村人口 132,860人(2013推計対比▲8,300人)
- ・振興局別人口減少率では、十勝が道内最低(増加となった石狩を除く)
- ・帯広市の外国人数は、2012年466人から2018年758人に増加

将来人口シミュレーションの仮定

名称	合計特殊出生率の仮定	移動の仮定
①2018年社人研準拠推計	2020年1.47 2025年1.46 2030年1.46 2035年1.47 2040年1.47 2045年1.48（以降一定）	2010年～2015年の国勢調査に基づき算出された純移動率（2040年以降一定）
②過去5年間実績ベース推計	2020年1.42（以降一定）	2014.1～2019.1の純移動数を2014.1現在人口で除した純移動率（以降一定）
③現ビジョン将来展望人口	2020年1.60 2025年1.70 2030年1.80 2035年1.94 2040年2.07（以降一定）	2013年社人研準拠推計の純移動率を基準に、概ね10年で800人程度の転入超過となるよう社会動態を改善
④2013年社人研準拠推計	2020年1.28 2025年1.25 2030年1.25 2035年1.26 2040年1.26（以降一定）	2005年～2010年の国勢調査に基づき算出された純移動率が、2015年～2020年までに2分の1に縮小（以降一定）
⑤出生現ビジョン・移動過去5年間実績ベース推計	2020年1.60 2025年1.70 2030年1.80 2035年1.94 2040年2.07（以降一定）	2014.1～2019.1の純移動数を2014.1現在人口で除した純移動率（以降一定）
⑥出生現ビジョン・移動均衡推計	2020年1.60 2025年1.70 2030年1.80 2035年1.94 2040年2.07（以降一定）	移動（純移動率）がゼロ（均衡）で推移

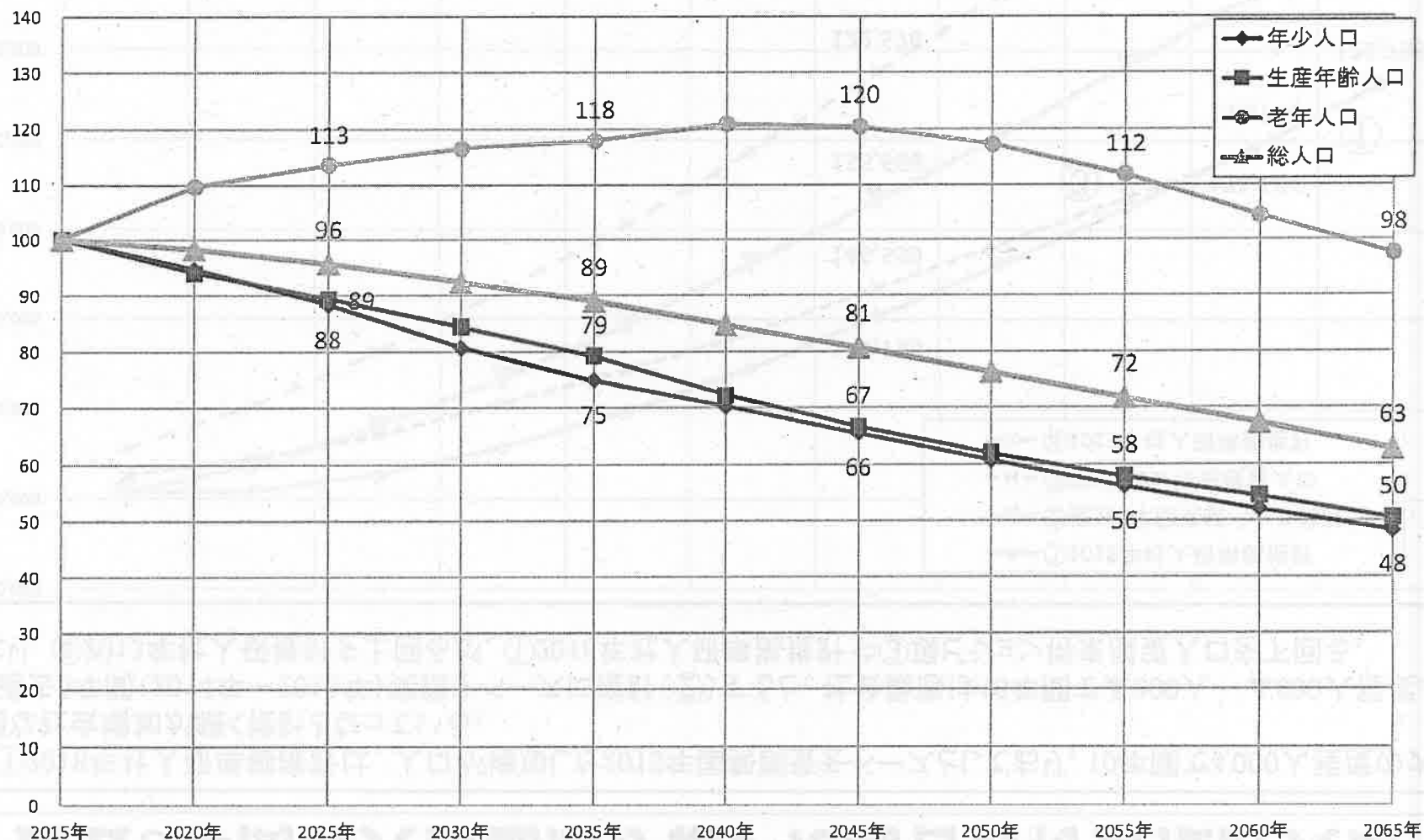
過去5年間の人口動態が続いた場合の将来推計人口

- ・①2018年社人研準拠推計は、人口が増加した2015年国勢調査をベースとしており、10年間で4,000人程度の大
幅な社会増加が続く推計となっている。
- ・過去5年間(2014年～2019年)実績をベースに推計(②)すると、社会動態は10年間で▲300人～▲600人程度と
なり、④2013年社人研推計を上回るが、①2018年社人研準拠推計や③現ビジョン将来展望人口を下回る。



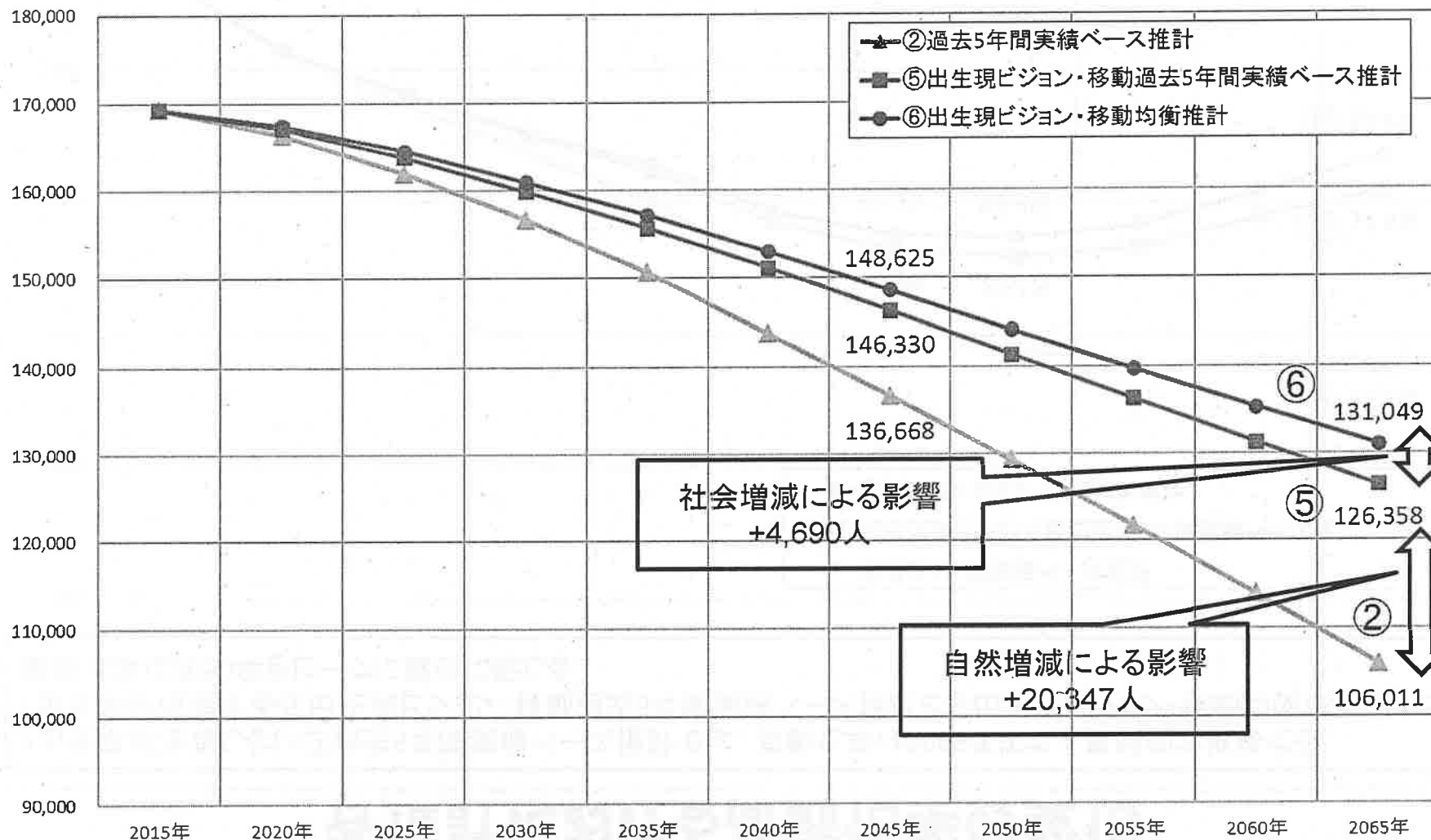
年齢3区分別人口の将来推移

- ・過去5年間実績ベース推計で、2015年の人口を100とした場合、総人口は2065年に63まで低下する。
- ・年齢3区分人口を見ると、2065年の年少人口は48、生産年齢人口は50となり、2015年に比べ半減する。一方、老年人口は、2045年の120まで増加したあと減少に転じ、2065年は2015年とほぼ同じ98となる。



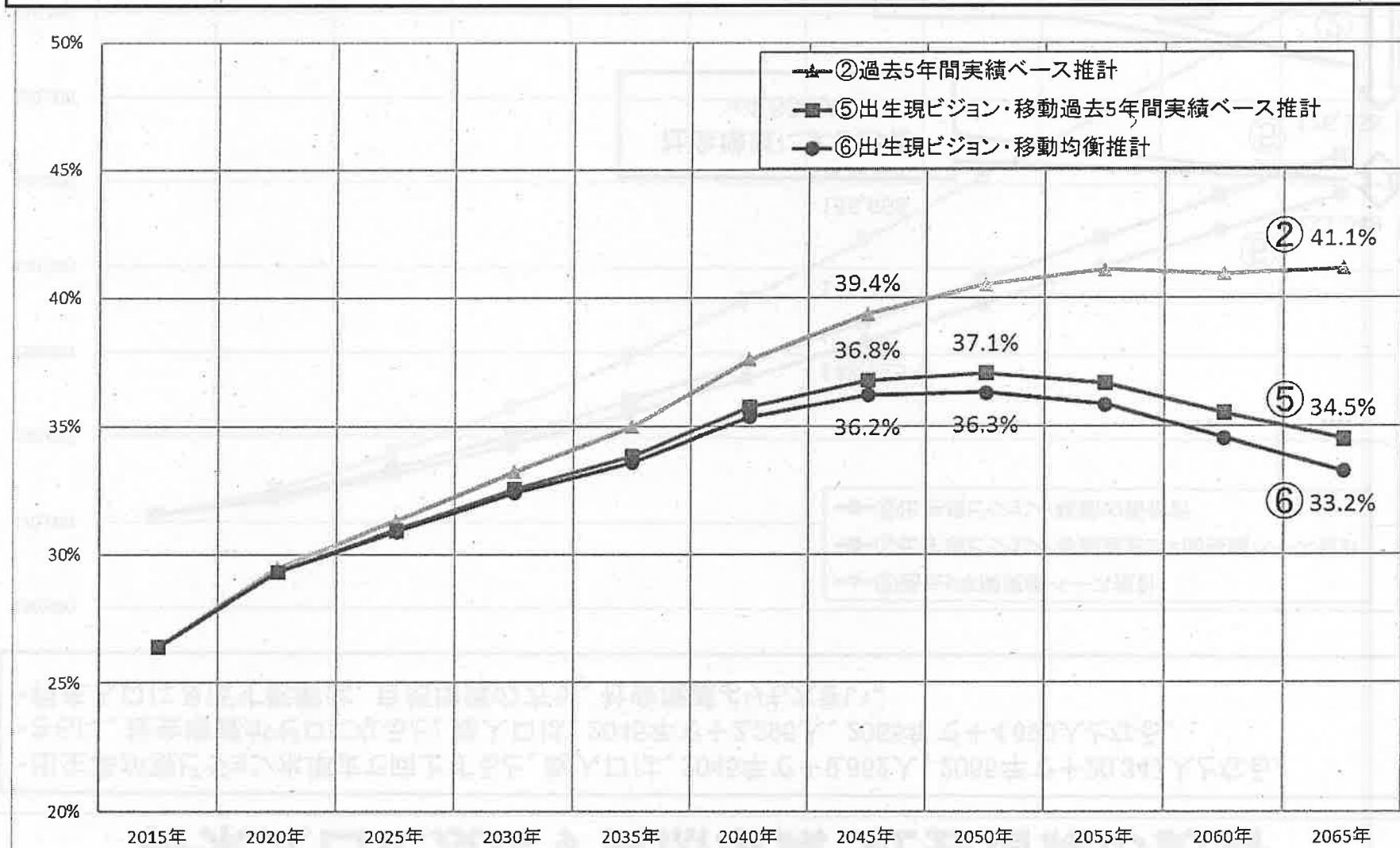
将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響

- ・出生率が現ビジョン水準まで向上すると、総人口は、2045年で+9,662人、2065年で+20,347人となる。
- ・さらに、社会増減がゼロになると、総人口は、2045年で+2,295人、2065年で+4,690人となる。
- ・将来人口に及ぼす影響は、自然増減の方が、社会増減よりも大きい。



各推計における高齢化率の変化

- ・出生率が改善しない②過去5年間実績ベース推計では、高齢化率は2065年まで上昇傾向で推移する。
- ・出生率が改善する⑤出生現ビジョン・移動過去5年間実績ベース推計と⑥出生現ビジョン・移動均衡推計では、高齢化率は2050年をピークに減少に転じる。

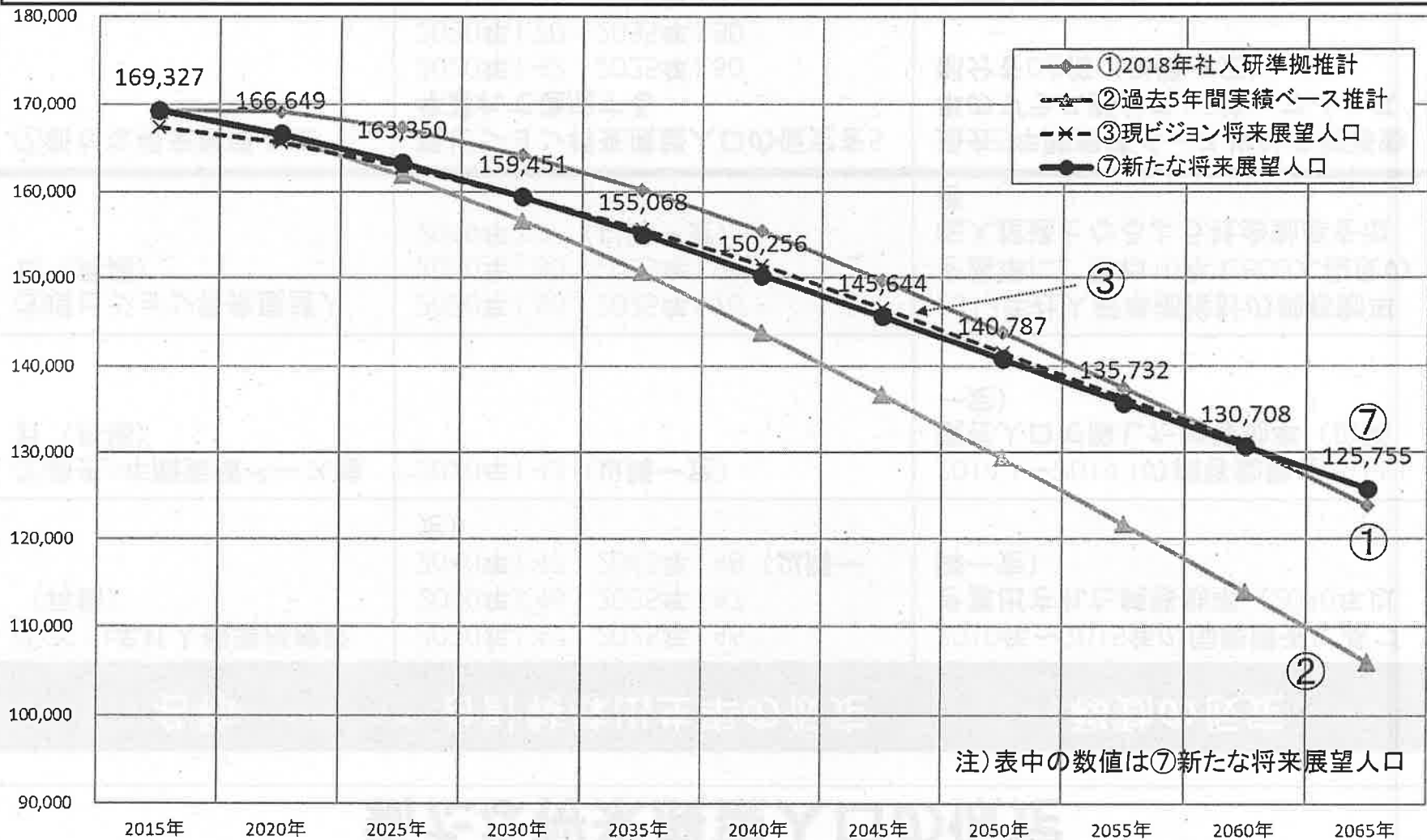


新たな将来展望人口の仮定

名称	合計特殊出生率の仮定	移動の仮定
①2018年社人研準拠推計 (再掲)	2020年1.47 2025年1.46 2030年1.46 2035年1.47 2040年1.47 2045年1.48 (以降一定)	2010年～2015年の国勢調査に基づき算出された純移動率(2040年以降一定)
②過去5年間実績ベース推計 (再掲)	2020年1.42 (以降一定)	2014.1～2019.1の純移動数を2014.1現在人口で除した純移動率(以降一定)
③現ビジョン将来展望人口 (再掲)	2020年1.60 2025年1.70 2030年1.80 2035年1.94 2040年2.07 (以降一定)	2013年社人研準拠推計の純移動率を基準に、概ね10年で800人程度の転入超過となるよう社会動態を改善
⑦新たな将来展望人口	現ビジョン将来展望人口の仮定を5年遅れで達成する 2020年1.42 2025年1.60 2030年1.70 2035年1.80 2040年1.94 2045年2.07 (以降一定)	過去5年間実績ベース推計の純移動率のプラス部分を1.2倍、マイナス部分を0.8倍(以降一定)

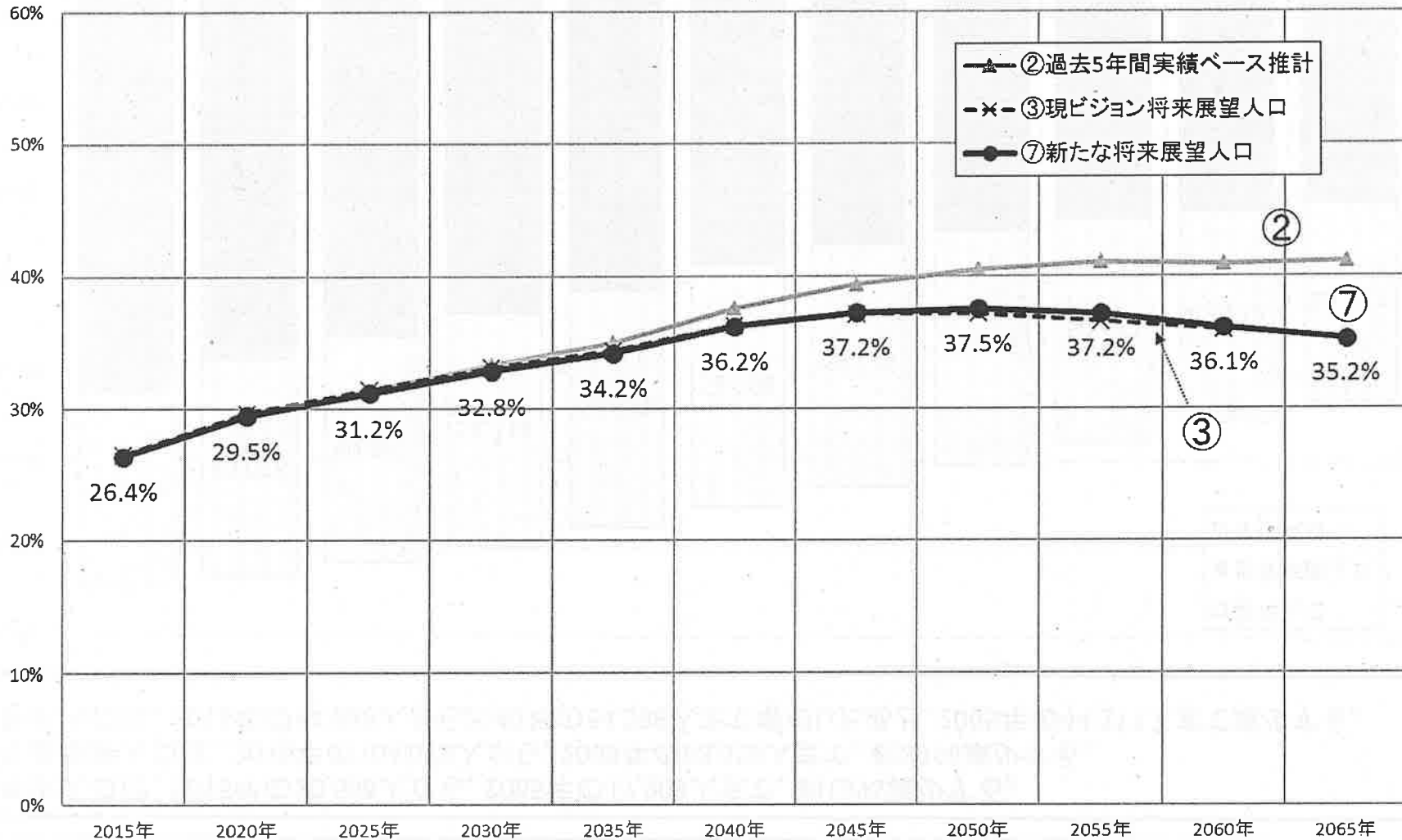
新たな将来展望人口

- ・新たな将来展望人口は、現ビジョンの将来展望人口における出生の仮定を5年遅れで達成するとともに、社会動態について過去5年間実績を改善し、10年間で約100～150名の社会増を仮定するもの。
- ・⑦新たな将来展望人口は、③現ビジョン将来展望人口をやや下回る水準で推移し、2040年で▲1,193人、2060年で▲476人となる。一方、2065年に①2018年社人研準拠推計を上回る。



新たな将来展望人口における高齢化率

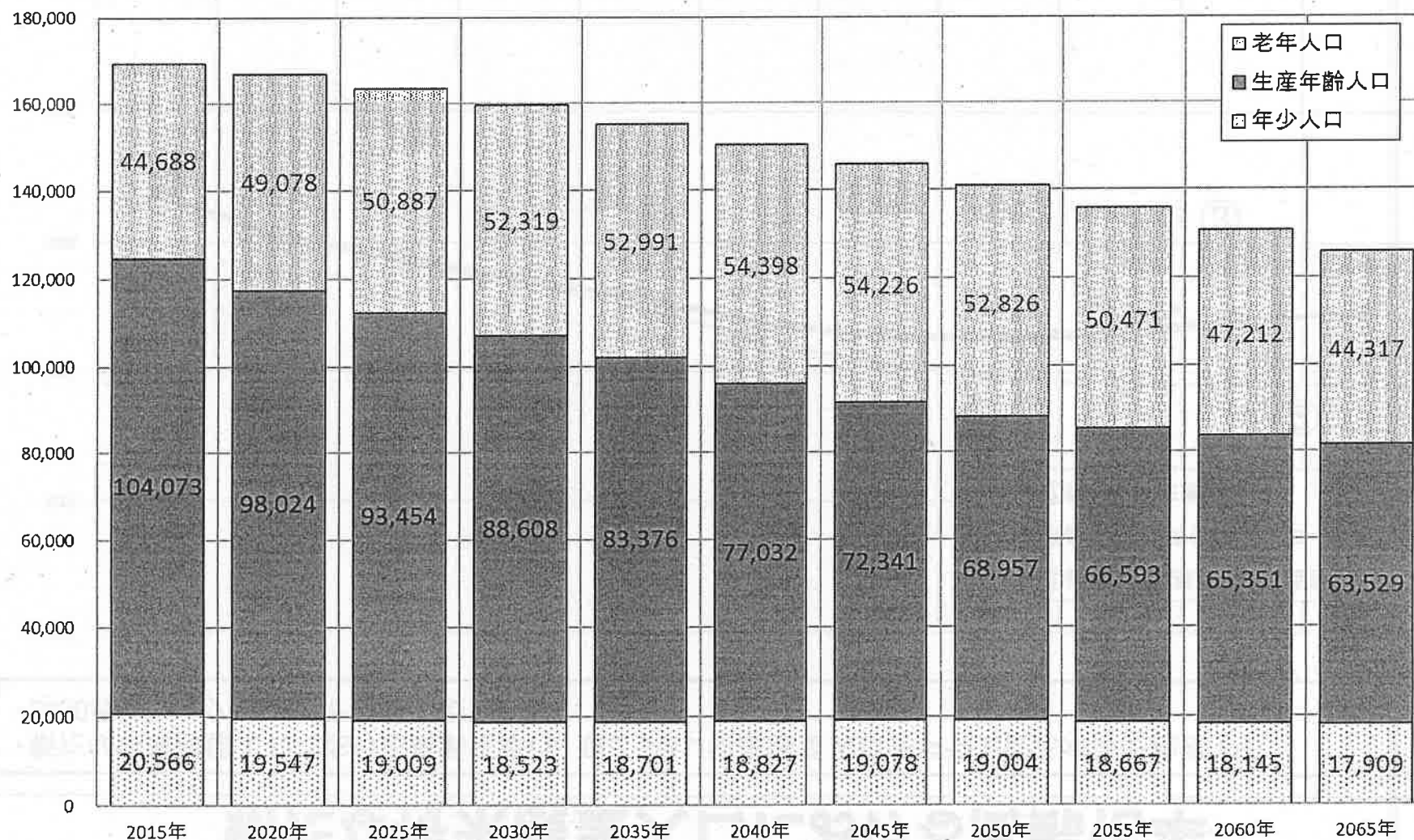
- ・新たな将来展望人口における高齢化率は、現ビジョン将来展望人口をやや上回る水準で推移する。
- ・2050年にピークとなり、その後、低下する。



注) 表中の数値は⑦新たな将来展望人口

新たな将来展望人口における年齢3区分別人口

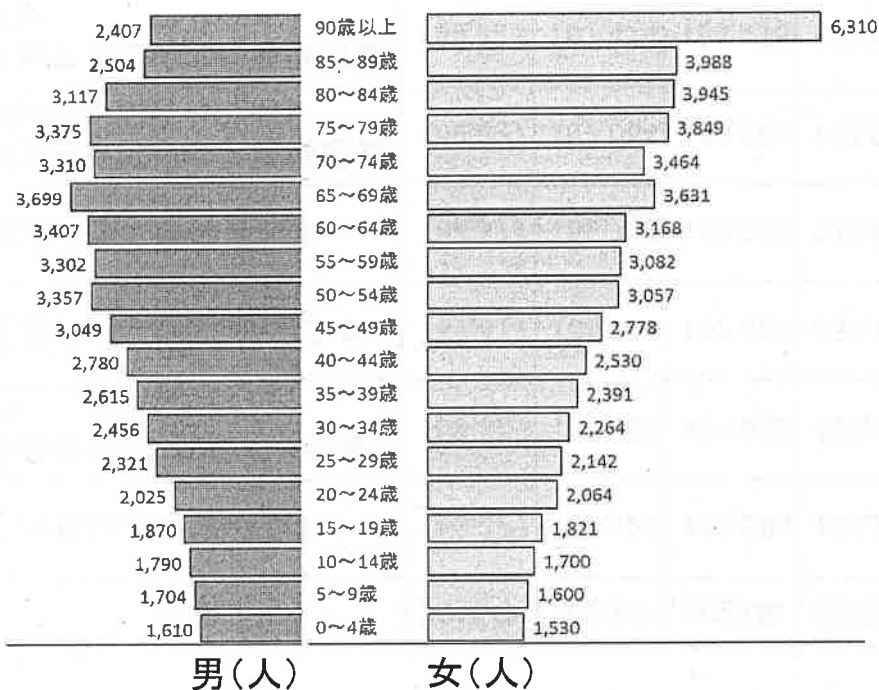
- ・年少人口は、2015年の20,566人から、2065年の17,909人まで、約13%減少する。
- ・生産年齢人口は、2015年の104,073人から、2065年の63,529人まで、約39%減少する。
- ・老年人口は、2015年の44,688人から2040年の54,398人まで増加したあと、2065年の44,317人まで減少する。



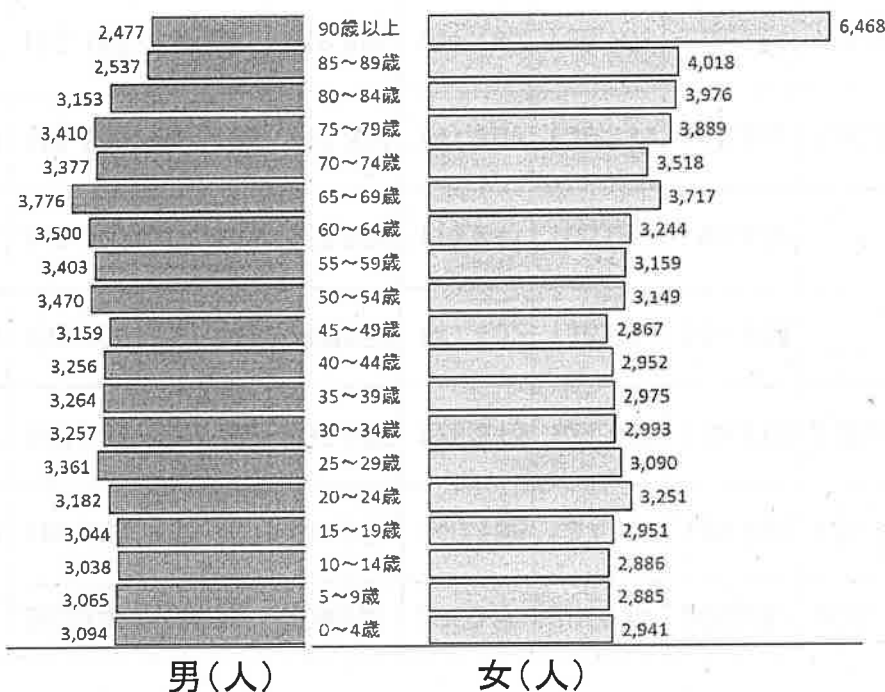
2065年における人口ピラミッドの比較

- ・過去5年間実績ベース推計では、合計特殊出生率が1.42のまま改善しないため少子化がさらに進行し、年少人口が少ない「つぼ形」となる。
- ・新たな将来展望人口では、合計特殊出生率が長期的に2.07まで改善するため、各世代の人口がほぼ同程度となる。

過去5年間実績ベース推計の人口ピラミッド



新たな将来展望人口の人口ピラミッド



将来推計の結果(数値)

名称	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
①2018社人研準拠推計	169,327	169,139	167,294	164,209	160,264	155,437	149,750	143,788	137,455	130,796	123,785
②過去5年間実績ベース推計	169,327	166,285	161,923	156,652	150,631	143,767	136,668	129,313	121,682	113,910	106,011
③現ビジョン将来展望人口	167,417	165,719	162,904	159,406	155,638	151,449	146,559	141,452	136,243	131,184	-
④2013社人研準拠推計	164,377	159,708	153,756	146,862	139,327	131,198	122,576	113,841	105,057	96,372	-
⑤出生現ビジョン・移動過去5年間実績ベース推計	169,327	167,064	163,784	159,880	155,686	151,106	146,330	141,367	136,294	131,281	126,358
⑥出生現ビジョン・移動均衡推計	169,327	167,414	164,475	160,957	157,168	152,982	148,625	144,187	139,708	135,324	131,049
⑦新たな将来展望人口	169,327	166,649	163,350	159,451	155,068	150,256	145,644	140,787	135,732	130,708	125,755